

認定救急検査技師制度部門
第8回認定試験(通算第11回認定試験)(2024年度)実施要項

I 期 日 :2024年11月24日(日)

II 試験会場 :幕張メッセ 国際会議場(大阪会場はありません)

III 受験申請料:20,000円(審査料を含む)※ 受験申請料は一切返金いたしません。

IV 登録料 :5,000円 ※ 合格発表後にお支払いいただきます。

V 受験資格 :以下のすべてを満たす者

1. 臨床検査技師の国家資格を有する日本臨床衛生検査技師会(以下、日臨技と略す)会員で5年以上の臨床経験を有すること

2. 日本臨床救急医学会(日本救急医学会ではありません)の会員であること

※ 申請年度の会費振込控えは在籍証明に使用するので保管しておいてください。

3. 受験申請前月までに「日臨技生涯教育研修制度」修了者であること

4. 日臨技認定センター主催の「認定救急検査技師制度指定講習会」を申請時から遡って5年以内に受講し、修了証書または受講証明書を授与されていること

5. 救急診療業務(救急標榜施設または日当直検査体制のある施設)に通算3年以上携わっていること

6. 申請時から遡って5年以内に、以下に定める学術・研修単位を30単位以上取得していること

※各申請項目において単位上限以上入力できるよう入力制限は外していますが、上限を超えた単位数は合計単位数には計上されません。各申請項目の単位上限に注意して合計単位が30単位以上になるように申請してください。

VI 受験資格申請の学術・研修基準単位

1. 認定救急検査技師制度指定講習会(各5単位、15単位を上限とする)

申請時から遡って5年以内に少なくとも1回の受講を必須とする。

2. 必須加入団体・学会(各3単位の合計6単位)

1)対象

申請時まで日臨技、臨床救急医学会への入会を必須とする。

2)証明書類

(1)日臨技:証明不要

(2)臨床救急医学会:申請年度の会費振込控えの写しを添付する(紛失した場合は臨床救急医学会事務局に再発行を依頼する)。

3. 関連学会および研究会会員歴(各2単位、10単位を上限とする)

1)対象

生物試料分析科学会、体液・代謝管理研究会、日本救急医学会、日本検査血液学会、日本血栓止血学会、日本細菌学会、日本災害医学会、日本集中治療医学会、日本不整脈心電学会、日本中毒学会、日本超音波医学会、日本糖尿病学会、日本臨床化学会、日本血液学会、日本臨床検査医学会、日本医療検査科学会、日本臨床細胞学会、日本臨床微生物学会、日本感染症学会、日本輸血・細胞治療学会、日本医療情報学会、日本超音波検査学会、日本心

エコー図学会、日本消化器内視鏡技師会、日本臨床一般検査学会など、医療関連学会・研究会に限る。
※上記以外の医療関連学会・研究会などは申請前に事務局にお問い合わせください。

2) 証明書類

以下に例を示すような受験(更新)申請年度において会員であることを証明できる書類の写しを添付する。

- (1) 学会発行の在籍証明(会員証のコピーではない)
- (2) 会員登録情報内の会費納入情報
- (3) 会費の払込受領証または振替受付票

4. 認定資格(10単位を上限とする)

1) 対象

- (1) 5単位: 緊急臨床検査士、一級臨床検査士
 - (2) 3単位: 細胞検査士、心臓リハビリテーション指導士、超音波検査士、糖尿病療養指導士、二級臨床検査士、認定クリニカル・トキシコロジスト、認定血液検査技師、日臨技認定センター資格(認定一般検査技師、認定心電検査技師、認定臨床染色体遺伝子検査師、認定病理検査技師、認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師、医療技術部門管理資格認定、医療管理者資格認定、認定認知症領域検査技師)、認定臨床微生物検査技師、認定輸血検査技師、分析機器試薬アナリスト、認定 POC コーディネータ、消化器内視鏡技師など医療関連の資格に限る。
- ※ 超音波検査士と二級臨床検査士は複数領域の認定であっても3単位とする。

2) 証明書類

当該団体が発行した資格認定証(認定期間がシール貼付の場合は最新のシールが貼付されたもの)の写しを添付する。

5. 論文・著書(20単位を上限とする)

1) 要件: 以下の(1)～(5)を満たしていること。

- (1) ISSN(国際標準逐次刊行物番号)[書籍は ISBN(国際標準図書標準番号)]に登録されていること
- (2) 投稿規程があること
- (3) 編集委員会があること
- (4) 定期的に発行されていること
- (5) 学術誌に掲載されたものに限る。

2) 対象

- (1) 10単位: 原著・症例報告の筆頭著者
- (2) 5単位 : ① 原著・症例報告の共同著者 ② 原著・症例報告以外の論文・技術解説・総説の筆頭著者
③ 著書の筆頭著者
- (3) 3単位 : ① 原著・症例報告以外の論文・技術解説・総説の共同著者 ② 著書の共同著者

3) 証明書類

- (1) 論文: 著題名、著者名(全員)、要旨、雑誌名、巻、号、発行年、始頁～終頁および ISSN が記載されているページの写しを添付する。
- (2) 著書: 題名、著者名、書籍名、発行年、始頁～終頁、発行所名、発行地、および ISBN が記載されているページの写しを添付する。

6. 学会発表(12 単位を上限とする)

1) 対象

(1) 日本医学検査学会、日本臨床救急医学会総会・学術集会

① 6単位:筆頭

② 3単位:共同

(2) 支部医学検査学会、都道府県医学検査学会および細則3に挙げた関連学会ならびに研究会の総会と地方会・支部学会

① 4単位:筆頭

② 2単位:共同

2) 証明書類

学会・研究会名、開催年月日、演題名、発表者名が記載されているページの写しを添付する。

7. 学会参加(10 単位を上限とする)

1) 対象

① 4単位:日本医学検査学会、日本臨床救急医学会総会・学術集会

② 2単位:支部医学検査学会、都道府県医学検査学会および細則3に挙げた関連学会ならびに研究会の総会と地方会・支部学会

2) 証明書類

学会参加証の写しを添付する。

8. 教育活動(各 5 単位、5 単位を上限とする)

1) 対象

(1) 学校教育:大学・短大・専門学校など。

(2) 認定救急検査技師制度指定講習会講師

(3) その他救急検査に関する講演が含まれる研修会・講習会講師

2) 証明書類

(1) 学校教育:教育機関名、役職、期間が記載された書類の写しを添付する。

(2) 認定救急検査技師制度指定講習会:講習会名、講師名、開催地、開催年が記載された書類の写しを添付する。

(3) その他:講習会名、講師名、開催地、開催年が記載された書類の写しを添付する。

※ 不明な点等については申請前に事務局にお問い合わせください。

VI 受験申請手順

1. 受験申請は会員サイトにログイン後、画面右「日臨技会員メニュー」バナーの「認定資格申請」をクリックして、各資格申請の画面にある「入力ガイド」に沿って申請してください。

2. 受験申請書受付開始:2024 年 10 月 1 日(火)

3. 受験申請書受付締切:2024 年 10 月 31 日(木)

VII 試験日程:2024 年 11 月 24 日(日)

11:00 ～ 11:45 受付
11:45 ～ 12:00 (15分) オリエンテーション
12:00 ～ 14:00 (120分) 試験
14:00 ～ 14:15 (15分) 回収

試験問題:日臨技ホームページ「日臨技認定センター資格情報(認定救急検査技師)」のページを参照ください。
(<http://www.jamt.or.jp/>)※認定救急検査技師制度カリキュラムを主体に出題します。

◆認定技師資格の認定期間について

認定資格の認定期間は、試験翌年の4月1日からの5年間となります。

◆認定技師の氏名公表について

この制度による認定技師は、各支部において指導的役割を担っていただくことを目標の一つとしていることから、特に申し出のない限り会報等に氏名を公表します。